

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援（重症心身）プレーメン碧海古井		
○保護者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年12月22日		～ 令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な個別性のある支援の提供 特に専門的支援を保育士・理学療法士で実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> 支援の質を高められるよう、多職種で連携をとり、工夫しています。 個別療育やリハビリ、機能訓練が共有できるよう記録や発言を行っています。 	スタッフ間で実施内容を各自の学びにつなげられるよう、個別支援会議の場を、より有効に利用していきます。
2	職員間でのコミュニケーションが円滑 立場に関係なく、意見やアイデアを出すことができ、支援内容に対することも違や保護者の満足度が高いです。	スキルや知識の差を、コミュニケーションや意見をしっかり取り入れることで改善し、支援につなげています。	どの立場の職員でも発言しやすい環境設定を行い、より良い支援ができるように今後も努めていきます。
3	環境や体制の整備ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 余裕をもった職員配置をしています。 安全に活動ができるよう、環境整備がおこなわれています。 	今後も、安全・安心に過ごせる環境を整え、より良い支援を目指していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流（地域住民・保育園・地域イベントなど）が少ない。	近隣の公園や施設に向くことはあるが、事業所内での活動で完結してしまい、交流の場を設けることができていません。	毎年少しずつでも、外部との関係性を新たに構築し、定期的なイベントとして導入していきたい。
2	施設内を見ていただく機会が少ない。	母子分離での療育のため、見ていただく機会が少ないです。	いつでも訪問可能とお伝えしているが、保護者側からは行きにくさがあるとお話があります。そのため、保護者会や参観日を設け、保護者の方々に足を運んでいただく機会を設けています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援（重症心身）プレーメン碧海古井					公表日	8年 4月 1日	
						利用児童数	8年 1月 31日	
							回収数	11
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	3			動ける子ども、少し狭いと感じるが、外に連れて行ってもらえるので、不満は感じない。	引き続き、どの児にも見合った活動スペースを設けていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11				スタッフの人数が多いため、安心して預けることができている。	引き続き、余裕のある人員配置を心がけていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1			バリアフリーになっている。常に整頓されていて、安心できる。	引き続き、危険予測しながら安全に配慮していききたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11				常に整頓・清潔にされていて、親として安心できるし、うれしく思う。	引き続き、児が触れる場所や物は毎日清掃・洗浄し、危険がないかを点検していきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				本人に合っている支援（リハビリなど）をしてきている。色々な面で発達を促してくれているので、ありがたい。	引き続き、多職種の見をもとに個別支援計画書を作成し、児の特性に応じた支援を行います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11				合っていると思うし、よく考えられていると思う。	引き続き、事業所全体で支援内容をよく検討していききたいと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				情報共有をしっかりとってもらえるので、現状・要望を把握したうえで計画してもらえる。	引き続き、一人ひとりに合った支援計画を作成していききたいと思います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				情報共有をしっかりとってもらえるので、現状・要望を把握したうえで計画して支援してもらっている。	引き続き、児童発達支援ガイドラインに沿った支援計画を作成していききたいと思います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11				計画に沿った支援と、プラスで状況に応じて支援してもらえる。	引き続き、支援計画に沿った支援を行っていききたいと思います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				とても工夫されていると思う。色々なことを経験させてくれるため、本人も楽しそう。季節を感じる行事や制作で楽しませてもらっている。	引き続き、児の特性に配慮しつつ、児が主体的に楽しめる活動を行っていきます。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1		7	直接の交流はないが、地域の公園などにお出かけて、交流をはかってくれている。	今後は、地域の子ども達との交流もはかっていききたいと思います。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10			1	とても丁寧であった。	引き続き、丁寧な説明をこころがけていききたいと思います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11				とても丁寧であった。十分な説明があった。	引き続き、丁寧な説明をこころがけていききたいと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1		4	定期的な懇談会があるため、活動の様子がわかる。もう少しあってもいいのかなと思う。	今後、さらにご家族に対する支援に取り組んでいききたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11				子どもの小さな成長にも気付いてくれる。日常のちょっとした出来事なども教えてくれるので、こちらからも話しやすい。	引き続き、児に関する共通理解ができるように、日頃から保護者とコミュニケーションをとっていききたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9			2	タイムリーにあるので、助かる。	引き続き、定期的に機会を設けていききたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1	プレーメンさんは心強い味方だ。職員全員の方からしてもらっている。愛情をもって支援してくれていると感じる。	引き続き、児や保護者のご意向に寄り添い、最良の支援ができるように努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1		5	もう少し交流の機会が欲しい。	今後、さらにご家族で参加できるイベントを企画したりして、家族支援に取り組んでいききたいと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				すぐに対応してくれるので、助かっているし、とても満足している。柔軟に対応してくれて助かっている。	引き続き、迅速かつ適切な対応を心がけていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				送迎時に、日々の連絡・報告などしっかりやってくれていると思う。行事や活動への参加も、子どもの状況をみつつ対応してくれるので、助かっている。細かなところやいつもと違ったりすると、すぐに確認され、不備の無いように配慮してくれている。	引き続き、丁寧なコミュニケーションを心がけて、こまやかな情報共有に努めたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1			毎月配布される通信で、活動の様子がよくわかる。毎月の通信を楽しみにしている。	引き続き、活動の様子をお伝えるために、発信していきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				とても配慮されていると思う。	引き続き、十分に配慮していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				緊急時対応マニュアルを、子どもの状態に合わせて、随時更新してくれている。安心・安全には特に気を付けてもらえている。	引き続き、定期的に訓練を行い、実施内容を保護者へ周知します。また実施結果を全職員で振り返り、改善点を話し合い、マニュアルの見直しを行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				避難訓練を、定期的に実施してくれているため、安心して預けることが出来る。訓練の様子を、お便りでも知らせてくれるので、安心している。	引き続き、定期的に訓練を行い、実施結果を全職員で振り返り、改善点を話し合っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11				職員さん内での情報共有がしっかりされているので、異常発生時にも連携し対処してもらえと思う。	引き続き、安全の確保に努めたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				小さな傷（顔をひっかいた等）にも、連絡してくれた。今まで怪我等の発生はないが、もしそうなったら、ちゃんとしてもらえると思う。	引き続き、事故に気を付け、発生の際の対処について、職員全員に周知していきたいと思っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			1	安心感しかありません。いつも丁寧に対応していただき、安心して通わせることができています。子供が泣かずに通っている。	引き続き、児に安心感をもってもらえるよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			1	すごく楽しみにしている。ニコニコして通うことができています。まだ自分の子が小さいため、よくわからない。	引き続き、児が安心・安全に過ごせる運営に努め、主体的に楽しめる活動を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				花丸をつけたい。満足している。ここに通ってから、子どもがとても成長したと思う。今後も子どものペースに合わせた支援をお願いしていきたい。自宅ではできないようなことをしてもらって、たくさんの刺激をもらって、楽しく過ごしている。	引き続き、より良い支援を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援（重症心身）プレーメン碧海古井		公表日 令和 8年 4月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	一日の利用定員に対して十分な活動スペースを確保しています。	今後も、施設玄関前や近隣の公園での活動も行うなど、活動的な児が、のびのびと安全に活動できるように環境を整えていきたいと思っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		利用人数より職員の人数を多く配置しており、1対1で丁寧な支援をこころがけています。	今後も、戸外に出かける際は、安全に考慮し、職員の人数を増やすなどして対応していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1	入口に段差があり、バリアフリー化ではないが、必要時にはスロープをつけるなどして対応しています。	引き続き、児の活動レベルに合わせて、活動しやすいように環境整備し、バリアフリー化に配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		毎日の清掃、感染対策を行っています。児の目線で床で過ごせるよう、クッションマットを全体に敷き、安全に過ごせるよう柱や柵などの角にはクッション材を付けています。使用したおもちゃは、消毒洗浄するなど、日頃から衛生管理を徹底しています。	引き続き、毎日の清掃、感染対策を実施します。児が安全に広々と遊べるように、常にこども目線に立って、危険が無いように配慮し、安全対策に努めたいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	4	クールダウンや体調不良などの必要に応じて、パーテーションで区切るなどして対応しています。	フンフロアの為、声の遮断ができていません。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	12		月1回全体ミーティングを実施し、常に全体で意見交換しています。	引き続き、定期的にPDCAサイクルに取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		アンケートを配布し、結果をホームページで公開し、支援の質の向上に努めています。	引き続き、保護者のご意見や思いを把握し、支援に反映できるよう努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		月1回全体ミーティングを行い、意見交換の機会を設けています。また普段から話ができる関係を築くように心がけています。	引き続き、意見を報告し合える風通しの良い職場環境を築いていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	3	自社グループの管理者が定期的に来訪し、改善点を話し合っています。	今後は、専門家による外部評価も行えると良いと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		外部の専門家による研修に定期的に参加し、研修に参加した職員が、他職員に報告し、学びを共有しています。また、オンラインセミナーを全職員が受講し、法人で定めている月間の研修も課題を決めて取り組んでいます。	引き続き、積極的に研修に参加し、資質の向上に努めたいと思います。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		多職種の意見を取り入れた支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。	引き続き、児や保護者の意向に寄り添い、作成していきたいと思っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		多職種でアセスメントを行い、保護者と面談のうえ、支援計画書を作成しています。	引き続き、適切なアセスメントを行い、児や保護者の意向に寄り添った計画書を作成していきたいと思っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		支援会議にて、多職種で児の様子や課題を意見交換し、計画書を作成しています。	引き続き、共通理解の下で、多職種の意見を出し合いながら検討していきたいと思います。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		計画書をカルテにはさみ、支援中いつでも見られるよう、フロア内にカルテが配置しています。	引き続き、共通理解の下で、職員全体で計画書に沿った支援を実践していきたいと思います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	標準化されたツールは用いていませんが、日々の行動観察からの情報を職員間で共有し、アセスメントシートに記載し、全職員が確認できるようにしている。	今後、より適切なフォーマルアセスメントの実施に取り組んでいきたいと思います。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		保育士、看護師、理学療法士それぞれの立場から、児の支援に必要な支援計画を立案しています。児に対して適正に支援が行われているか会議を開き、改善を行っています。	引き続き、多職種の観点から意見交換し、具体的な支援内容・支援方法を設定していきます。

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		月間の活動を多職種の目線からアイデアを出し、療育・発達・リハビリの面で検討しています。	引き続き、多職種の意見を出し合いながら、立案していきたいと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		同じ内容の繰り返しにならないように、季節・イベントに応じて、多職種で案を出し合い、週ごとに内容を計画しています。	児が楽しめる活動となるよう、発達段階やねらいを考慮し、プログラムを組み立てています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12		5領域の内容に合わせて、個別活動で集中する時間と、小集団活動で他児との関わりやみんなで楽しむ時間を設け、支援を行っています。	引き続き、児の状況に応じて、計画書の立案、支援を行い、集団活動に参加が難しい児に対しては、小集団活動から始めるなどの工夫をしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		支援開始前に、活動内容、役割分担、児の情報を共有しています。	引き続き、職員間の情報共有を徹底し、多職種で連携を取りながら支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		気づき、振り返りの内容、保護者の方の意見など共有し、次回に活かせるよう検討しています。必要時はすぐにミーティングを行い、情報共有しています。	引き続き、日々の気づきなどを今後の支援や業務改善に活かしていきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		毎日の支援内容や児の反応や状態などをサービスマスターに記録し、支援内容の振り返りや共有をしています。	引き続き、日々の気づきなどを今後の支援や業務改善に活かしていきたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		初回利用3か月後と以降6か月ごとにモニタリングを実施し、個別支援会議を開き、児の現状を把握し、多職種で意見交換し、内容の見直しをはかっています。	引き続き、多職種で活発な意見交換を行い、共通認識をもって、適切な見直しをはかっています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		児に精通した職員が出席しています。	引き続き、適任者が出席していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		自立支援協議会に担当者が参加しており、連携を図っています。	引き続き、各機関と連携をはかっています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12		必要に応じて、施設での児の様子を実際にみてもらったりして、移行支援を実施し、他機関と情報共有しています。	引き続き、他機関との連携を図っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12		相互に訪問し、情報共有しています。	引き続き、直接的に連携をはかっています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			—	—
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			—	—
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			—	—
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	3	必要に応じて、福祉、医療、子育て支援等の関係者の担当の方と連携をはかりながら、支援をしています。	引き続き、必要に応じて、他機関と連携をはかり、支援をすすめています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	10	地域の他園との交流の機会を設けることはできていませんが、保育課との意見交換の場があり、提案を行っています。また系列施設の利用児同士の交流機会を設けています。	児の状態を考慮して、他保育園との交流を検討していきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時に自宅での状況、施設での様子を保護者の方と情報共有し、共通理解を心がけています。	引き続き、職員間の共通理解を心がけ、支援に取り組んでいます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4	外部のプログラムを提供したり、職員が研修に参加し、保護者に提供したりしています。	施設では、家族が参加できる研修の機会は検討できていません。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		利用契約時に必ずお伝えし、保護者の方に理解・同意を得ています。	引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		保護者のご意向を確認し、個別支援会議にて支援計画書を作成しています。	引き続き、児や保護者の意向を尊重し、全職員間の周知を心がけていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		書面にて提示し、保護者から署名をもらっています。	引き続き、丁寧な説明を心がけていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		毎日の送迎時にお声がけし、定期的に保護者面談も行っています。	引き続き、保護者との良好なコミュニケーションをはかっていきたいと思っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12		活動の中で、保護者も参加できる活動を設けています。	引き続き、保護者会・参観日などで保護者同士の交流の場を設けていきたいと思っています。今後はきょうだい同士で交流する機会を検討していきたいと思っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		毎日の送迎時やサービス提供記録にて保護者からの連絡を伺っています。相談や申し入れには迅速に対応し、必要時は関係機関との連携をはかっています。	引き続き、児や保護者の些細な変化にも対応できるように、職員間の情報共有を行っていききたいと思っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		活動の様子が分かる写真をたくさん掲載した通信を毎月発行したり、月間予定表を配布したり、サービス提供記録に日々の様子を細かく記載したりして、情報を発信しています。	引き続き、事業所の活動内容を知ってもらえるような手帳を講じて、情報を提示していきたいと思っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		施設内でのみ使用し、鍵付きの棚で保管しています。	引き続き、定期的に個人情報に関する研修を行い、職員の意識向上に努めます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		日頃から保護者と積極的にコミュニケーションをとり、個人が行ったコミュニケーション内容を職員間で共有しています。	引き続き、よりよいコミュニケーションが行えるように、日々改善していきたいと思っています。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9	地域のボランティア活動（清掃活動）に参加したり、団体の方との交流の場を設けていますが、招待することはまだできていません。	今後はさらに積極的に地域との連携をはかっていきたいと思っています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		各マニュアルを作成し、いつでも確認できる場所に保管しています。緊急時対応マニュアルは個別にも作成し、保護者の同意も得ています。避難訓練は水害、地震・火事を想定し、年2回実施しています。	引き続き、職員全体でマニュアルの内容を把握し、状況に応じてアップデートをはかっていきたいと思っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		業務継続計画（BCP）を策定し、年に2回、避難・救出その他必要な訓練を行っている。	引き続き、職員全体で策定された業務継続計画の内容を把握し、定期的な訓練を行っていききたいと思っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		服薬、予防接種記録は、常時更新しています。事前にてんかん発作等の状態、抗てんかん薬の使用方法を確認し、カルテにまとめています。	引き続き、確認は常時行い、年2回母子手帳・お薬手帳の更新確認を行っていききたいと思っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		カルテに記載されており、職員間で情報を共有しています。	引き続き、アセスメントを実施し、職員全体に周知します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		策定された安全計画に基づき、訓練や研修を実施し、安全に支援が行えるようにこころがけています。	引き続き、定期的に研修・訓練を行い、安全管理に配慮した支援を行っていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1	安全計画に基づいた取り組みや訓練を、文書にまとめ、保護者へ配布しています。	引き続き、定期的に訓練等を行い、保護者への周知に努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		報告書を速やかに作成し、早期共有に努めています。事例の検討会を行い、再発防止に向けて対策を講じています。	引き続き、事実を報告し合える風通しの良い職場環境を築いていきたいと思っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		虐待防止委員会を設け、定期的に研修を行っています。	引き続き、定期的に研修に参加し、虐待防止委員会を実施します。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12		安全目的、リハビリ目的で身体を固定することもあります。事前に目的・方法・必要性を保護者に説明し、支援計画書に記載し、同意を得ています。また、実施した際は、記録に残しています。	引き続き、保護者から了承を得た児のみ、必要時に行うものとし、実施時は記録に残します。